

ミツバチに学ぶ

コミュニケーションのあり方

春を迎えて

5月は最も生命力を感じる季節です。日本全国で田植えが始まり、花は色鮮やかに開き、葉は青々と生い茂り、冬眠から目覚めた生き物たちが活発に活動を始めます。花に集うチョウやミツバチを見ると身近な生命の躍動を感じ、自然と気持ちも明るくなるという方は多いのではないのでしょうか。

ミツバチの会話術

ミツバチとえば、昆虫界には珍しく集団で生活する昆虫の一種です。そのミツバチ社会のほとんどを占める働きバチはお互いに協力し、非常に効率的に蜜を集めます。たとえば、ある一匹が蜜源をみつけると「蜜を出す花が咲いているよ。あっちにたくさんあるから皆で取りに行こう!」と仲間伝え、蜜の量

が少なくなれば「もうなくなるから行かなくていいよ」と収集に向かうハチの数を調整します。情報の伝達には数種類のダンスが用いられ、角度、距離、蜜の量やさらに品質までも正確に伝えることができるそうです。ミツバチの集団生活は、お互いの協力があってこそ成り立つ社会であり、正確・効率的で密なコミュニケーションの必要性から生まれた知恵と進化が「ミツバチの会話術」と言えます。

言葉の持つ力

さて、私たち人間社会におきかえると、ミツバチのダンスは私たちの「言葉」にあたります。言葉は、多くの情報を伝え、人間関係や社会生活を築く上で欠かせないものです。言葉の持つ力は大きく、人間関係の潤滑油となり、伝えたい相手に勇気を与えるなど、プラスに作用する場合があります。一方、時にこちらの意に反して相手を傷つけてしまうことや、何気ない言葉が誤解を生み、マイナスに働いてしまうこともあります。人を動かす、勇気を与えることも、また何気ない一言のために、意気消沈させてしまうこともある言葉は両刃の剣。だから

こそ使い方には日ごろから注意が必要です。

心の通った「コミュニケーション

現在私はインスタラクターとして言葉を扱い、伝える仕事に携わっています。正確に知識を伝える必要性から、「言葉の持つ影響力」を認識した上で、効率的に伝えられるように心がけています。また、集合座学形式で進める講座はステレオ形式の一方的なものではなく、「伝え手」と「受け手」という互いのノンバーバルも含めた双方コミュニケーションの上に成り立ちます。このため、日ごろの会話を通して相手を知り、「良好な信頼関係を築いた上で「伝え手」と「受け手」が一体となるような心が通った講座を行うことが私の仕事です。

そもそもコミュニケーションの基本は相手を気遣い、思いやりを持つこと。相手はどう感じているか、気持ちを理解しようとするれば自ずと言葉の扱い方も変わってきます。さまざまな場面において、心の通ったコミュニケーションを重ねることが、ミツバチのように効率的な集団生活を営むためのヒントになりそうです。

(教育事業部 丸岡みゆき)



029(233)6143

www.lilyacademia.com

一人ひとりの学ぶ力が伸びる、毎日が楽しい学習塾!
LA リリーアカデミア
Lily Academia

塾生募集

- ・信頼と実績、リリーグループの学習塾
- ・パソコンだから実現できる、「わかりやすい」「楽しい」自立学習システム
- ・無料体験レッスン随時開催中!

